

# 桜薬会 会報

*No.* **71**



薬学部 8-3-3B実習室

October. 2019

## 目次

目次	2
人物往来 杉浦 邦夫	3
学生生活の思い出 島田 崇史	6
生涯教育講座のご案内	7
研究室だより	8
研究室同窓会	13
支部連絡会報告	14
地区支部・職域支部だより	16
桜の木の下で	18
日本大学・日本大学校友会ニュース	30
薬学部ニュース	30
会務報告	32
会合予告	35
会費納入報告	36

★ 表紙・写真 撮影者：薬学部 写真部

## 第31回桜薬祭のご案内 母校を訪ねる日

第31回桜薬祭（薬学部学園祭）が来たる11月3日（日）・11月4日（月）の両日、薬学部校舎で開催されます。

薬学部校友会では、11月3日（日）を「校友の母校を訪ねる日」と定めて当日参加校友（工学部薬学科・理工学部薬学科・薬学部卒業生）に昼食券（500円）を進呈しております。

当日は校友会提供の「桜薬クイズ」や学生会員の研究発表も行われております。校友の皆様お誘い合わせの上ご来校ください。多数のご参加をお待ちしております。

# 人物往来

## 25期（理工学部薬学科：1980年卒） 杉浦 邦夫



桜薬会の会員の皆様、初めまして杉浦邦夫と申します。先日、日高教授から、校友会の会報に近況などの記事を書いてくださいとの、連絡があり日高先生との最近のお付き合いなどもあり、断れない関係でしたので前向きにお受けすることにいたしました。その時にもお話をしたのですが、私は薬学部の学生時代は遊んでばかりで、しっかり勉強した記憶がないのでそれでもいいですかねと確認をいただきましたので、40年以上前の学生時代の楽しかった思い出の記憶をたどっていきたいと思います。

### （大学入学まで）

私は、昭和32年生まれの62歳です。生まれも育ちも、千葉県柏市になります。私が生まれた時には両親が薬屋を開業していたので、二代目になります。高校は以前東京の赤坂にあった、日大三高に通っていました。ですので、薬学部には付属高校から入りました。

### （大学時代）

付属高校から進学した我々は、同じ薬学部にも高校からの同級生もいましたし、休み時間に、大食堂に行けば大勢の日大三高出身者が固まっていたので、とても心強かったです。多分今も付属の高校から進学してきた学生さんはそうだと思います。入学してからすぐに、クラブ活動の勧誘がありました。私は高校時代に少林寺拳法をやっていたので、そのブースに顔を出したら当然のことながら入部を勧められ、話を聞くことになり試しに練習に行くことになってしまい、何回か顔を出すうちに入部することになりました。しばらくして気が付いたのですが、クラブの練習は、昼休みは習志野キャンパスの屋上で行い、夕方週に3回は生産工学部の大久保キャンパスで練習をしていました。入部した少林寺拳法部は、あそこキャンパスが一緒だった生産工学部のクラブでした、結果的にはほかの学部のクラブに入部してしまったのでした。一緒に入部した1年生の中には、生産工学部の学生もいましたが、理工学部も2人いたので安心していたら、その学生は理工学部の精密機械科だったので、2年生になってもお茶の水校舎に通うわけではなく、4年間ずっと習志野キャンパスで過ごす学科の学生でした。そして、めったなことでもクラブを休んだりすると、自分が後で大変なことになるので、頑張っ活動をしていました。しかし薬学の授業が終わってから、バスで生産工学部の大久保校舎に行って、練習をして夜遅く京成大久保から帰ることをしていました。案の定勉強がおろそかになって後期の試験の結果はよくありませんでした。その時に多分担任であった、渡邊和子先生から呼び出しがあり、あなたそんなことを続けていると、色々な面で良くないから今入っているクラブをやめなければダメと注意をされました。しかしあの頃の少林寺拳法部の性格上退部届を出して明日から辞めますとはとてもいえる状況ではありませんでした。クラブをやめるために、一緒に入部した1年生の中にはそのために退学してしまった学生もいました。簡単に退部できない内部事情を渡邊和子先生に話したら、私が一緒にそこに行って直接話をするとまで言っていたのを、今でも覚えています。その言葉は本当にありがたかったです。それから少しして少林寺拳法部をやめることができました。1年生の時は、そのようなクラブだったので、学生服で大学に通っているようなまじめな学生でしたが、少林寺をやめた反動か、お茶の水キャンパスに通うようになってから、あの時代に、やはり始めたサーフィンとスキーにはまってしまい、また別のことで勉強がおろそかになってきていました。しかし、周りの同級生に助けられてお茶の水のキャンパス

ライフを楽しむことができました。40年前のお茶の水は、楽器屋と本屋・スキーショップの街でしたので、冬になると、色々なスキーショップに顔を出してウェアやスキー板を見て歩きました。スキーショップなどでは、理工学部の知り合いがアルバイトをしているお店もたくさんありました。また、聞いたところによりますと、あのころにあったビクトリア・ミナミスポーツ・アルペン・石井スポーツなどは、創業者一族が経営している会社は今では一つもないそうです。あのころあれだけ時代の中心であった企業がなくなるのはさびしいものだと思います。最近お茶の水駅の近くに行っただけですが、私の知っているお茶の水ではなくなっていました。いたるところに調剤専門の薬局が建っていて、薬局の街に変わっていて大変驚きました。あの頃のお昼の休み時間は、我々のいる8号館には食堂がなかったこともあり、色々な場所にサラリーマン向けに美味しい食堂があり日替わりで色々食べに行っていました。少し授業が早く終わったときは、最近閉店した、いもやの天ぷらを並んで食べたり、おながが減っているときや早く食べたいときはキッチンカロリーーに行き、お金がないときは、明治大学の師弟食堂に行ったり、逆に懐があったかいは、山の上ホテルでカレーライスを食べたりしていました。研究室は、化粧品研究室に入り、教授の佐藤孝俊先生には公私ともにお世話になりました。私の家内は、大学の同級生で同じ化粧品研究室でしたので、佐藤先生に仲人をしていただきました。化粧品研究室は比較的女性の学生が多いところでした。しかし、研究室対抗ソフトボール大会というのがあり、現在の薬学部のあるあたりのグラウンドで行われました。我々は、おそろいのTシャツを作ったりして頑張った結果、優勝することができたことは、あの頃の良い思い出です。お茶の水での大学生活では、前期と後期の試験がなければすごく楽しい時間だと思いました。試験前になると仲間からノートを借りてコピーをしたりしていました。私の悪い性格で、ノートをコピーしただけで頭に入ったのも同然で安心してしまい、試験前日にいつも慌てて勉強するパターンでした。ある夏の暑い日だから前期の試験前だったと思いますが、授業の内容がよくわからなく、人のノートを借りたり、話を聞いただけではわからない科目がありました。何を思ったか、友人と二人でその教授の所に行って、ずうずうしくも今度の試験どの辺を勉強したらいいかと直接聞きにいった記憶があり、その時に先生は、我々二人のために、忙しい中1時間以上黒板に文字を書きながら、丁寧に教えてくれました。後にも先にも自分の研究室の教授でもない先生に直接話に行ったのは初めてでしたが、おかげさまで試験は受かりました。徳竹先生ありがとうございました。

### **(社会人になって)**

私は、すぐには家業を継がずに、柏にあった国立柏病院に勤めました。昭和55年ころのうちの薬局は業態が今とは違い、一般用医薬品・化粧品・洗濯洗剤・トイレトペーパー・シャンプーリンスの販売や煙草・お線香やろうそくなどなんでも売っていました。薬局ですので、2坪の調剤室はありましたが、処方箋が巷に出回っていませんでした。しかし、私はこれから時代が変わり、調剤の技術を身につけないと、置いて行かれるのではないかと考えて、病院で勉強することにしました。それから少ししてから、実家の薬局をついで現在に至っています。最初のころは、医薬品の価格も守られていて、ほぼ定価か1割引き位で売っていましたが、だんだんチェーン薬局が薬の値引きを始めるようになってきました。しかし、時を同じくして、近隣の医療機関が院外処方箋を発行するようになって、私の薬局も調剤に重きを置くようになっていき現在に至っています。

### **(薬剤師会の仕事)**

開局して業務を行う上での研修会や学校薬剤師・夜間休日診療所の当番薬剤師などの地域活動は薬剤師会での業務が絡んでいますので、私も若いころから柏市薬剤師会理事をやらせていただきました。そして45歳から49歳の4年間会長もさせていただきました。そのころたまたま大学の同級生にあって、薬剤師会の会長をやっているんだと話をしたところ、杉浦君の過去を知っている人が聞いたら、腰抜かすね、と言われたのをよく覚えています。確かにそうだろうなと納得しました。しかし、昨年からは千葉

県薬剤師会の会長の職についているので、その同級生に今度会ったらなんといわれるか、楽しみです。千葉県薬剤師会での私の一番の目標はいつ起こるかわからない災害に強い薬剤師会を目指しています。2011年の東日本大震災では、千葉県の太平洋側の津波や浦安の住宅地の液状化現象などの多くの被害が出ました。これから必ず起きるであろう災害に薬剤師会として迅速に対応できるように、活動していきたいと思います。平成15年12月に第8回薬学教育者ワークショップが開催されました。このワークショップは今の薬学生指導薬剤師で行うものの前身で、参加者が大学の先生だけではなく、日本薬剤師会と日本病院薬剤師会から推薦された薬剤師が入った最初のもので、2P6Sで行われたものですが、私が入った同じS（9人グループ）の中に、40年ぶりにお会いした渡邊和子先生がいらっしゃいました。そのころ私は、千葉県での薬学生受け入れの責任者をしていましたので、それをきっかけに渡邊先生とお付き合いが再開しました。薬学部が6年制になる前は、千葉県は薬学部が7大学あり、学生実習が本当に受け入れられるのかが大きな課題でしたが、大学の先生方や、千葉県病院薬剤師の先生方の協力もあり、大きな問題もなく今日の実習に至っています。今でも日本大学にはワークショップなどでお世話になっております、この場をお借りして御礼申し上げます。私の長男も今は一緒に薬局の仕事をしていますが、当然ながら、日本大学薬学部を卒業いたしました。当然桜薬会の会報も3通届いています。最後に、今回40年ぶりに過去の記憶をたどるきっかけを作っていただきました、日高先生には感謝しております、ありがとうございました。

## 日本大学校友会正会員募集中

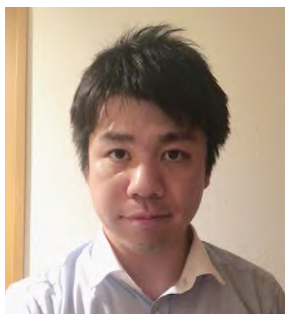
皆様は日本大学薬学部校友会が、日本大学校友会の下部組織として活動していることにご存じのことと思います。薬学部校友会は卒業生を正会員に、在校生を学生会員として構成しております。日本大学校友会では卒業生全員に、毎年2月頃、校友会誌「KIZUNA（絆）」を送付し、別途登録して頂いた校友を正会員（会費10,000円）として正会員会誌「桜縁」（年2回発行）をお届けしております。正会員会費の一部は薬学部校友会へ納入した翌年に還付されます。還付金は還付当年度の薬学部校友会年会費としております。ぜひ正会員登録をして頂きたくお願い致します。希望者は事務局までお知らせ下さい。

### 工学部薬学科・理工学部薬学科卒業生にお願い：

登録・会費納入に際して郵便振替用紙記入の時、「所属する支部・部会」欄に必ず「薬学部校友会」と記入して下さい。無記入ですと本会に還付されませんので、薬学部校友会会費に振り替えることが出来ません。ご注意ください。

## —— 学生生活の思い出 ——

### 56期（薬学部薬学科：2013年卒） 島田 崇史



私が薬学部を目指した理由として、医薬品の研究や開発に興味をずっと持っており、薬学部に入学いたしました。大学卒業後はCROに就職し、目指していた医薬品の開発業務に携わることが出来ております。

私が大学に入学したのは、医師と同様に薬剤師も6年制となってから2期目でした。当初は何故2年間で追加が必要と判断されたかを個人的には分かっておりませんでした。実務実習の充実や研究室での卒業研究の時間など、非常に貴重な経験を積むことができたと思っており、卒業後に6年制になって多くのことを学ぶことが出来たと思えました。

私は病院や薬局などにて薬剤師として従事しておりませんが、病院・薬局の実務実習にて現場の薬剤師の業務内容を短期間ですが、業務の一部を学ぶことができたのは、今の業務に従事するうえで大きなアドバンテージだと思っております。

個人的に学生生活を振り返った際、「友人」が何よりも大切な存在であったと思えます。いつも行動を共にしていたのは、12人グループと少し人数が多いグループでした。人数が多いこともあり、なかなか意見がまとまらず、下らないことで揉めることが多かったのですが、集まればいつも笑顔が絶えない関係でした。勝手ながら非公認サークルを自称し、ボウリング部として週3回くらいはボウリングをはじめとした色々な活動という名の遊びをしておりました。また、テスト期間になると共に勉学に励み、切磋琢磨して成長することが出来たと思っております。この友人たちと様々な経験を過ごしたことは非常に貴重な経験であり、充実した大学生活を送ることが出来たと思えます。

また、桜薬祭実行員会に参加したことも素晴らしい思い出として残っております。当初は参加する予定はなかったのですが、友人に誘われて顔を出した際に、当時の先輩から次期委員長を急遽任命されたことがきっかけで参加することとなりました。一つ上の学年の先輩が在籍されていなかったため、2年次より私の学年が先頭に立って活動をしていたのですが、人手が足りないこと、どのように準備をすればよいのかが全くわからず、どのように動けばよいのか非常に苦労しました。国家試験の勉強でお忙しかったにもかかわらず協力してくれた先輩や継続して協力してくれた委員会メンバー、新たに参加してくれた友人や後輩に恵まれ、何とか乗り切ることが出来ました。学園祭の打ち上げの際には、すべてから解放されたような記憶があります。3年次になると、実行委員長の2年目ということもありまして、事前準備や当日の運行などはスムーズに進むことが出来ていたのですが、豚インフルエンザが流行してしまい、桜薬祭は開催できないと判断をされてしまいました。致し方ないことながら、今まで準備してくれた委員会メンバーの意見を聞きました。そこで、出来れば開催したいとの意向を確認しましたので、学生課の方に協力を求め、何とか開催することが出来ないかを大学側と交渉し、学生課の方が非常に協力的に動いてくれたことが大きかったのですが、結果的に開催することが出来ました。理由が理由であったため、中止になっても仕方ないかなと思っておりましたが、より良い学園祭にしよう一つになって励んでいた委員会メンバーの努力が無駄にならずに開催することが出来て、本当に良かったと思っております。周りのメンバーが各々の業務を期待以上に実施してくれたおかげで、個人的にはあまり貢献できていなかったかなとも思うのですが、結果的に上手くいったので良かったです。委員会メンバーとは卒業後も定期的に遊ぶことが多く、学生時代の思い出を楽しく語ることも多いです。

非常に楽しい思い出ばかりの学生生活を過ごすことができたのは、先生方の良き指導の下、友人に恵まれたことであると思っております。今回の寄稿を引き受け、学生生活を改めて思い出してみると6年間通学したキャンパスが懐かしく思えてしまいます。都合が合えば、友人を誘って学園祭にお邪魔しようかなと思えました。

# 生涯教育講座のご案内 (2019年10月～2020年3月)

令和元年度10月以降の生涯教育講座の日程をご案内します。最新の開催情報はホームページに掲載します。開催場所等が変更になる場合がございますので、ホームページにて必ず御確認ください。

<http://www.pha.nihon-u.ac.jp/longlife-learning.html/> (この頁の右下のQRコードをご利用ください)

## 【最近のトピック】 1回1単位、受講料1,000円

場 所：船橋市民文化創造館（きららホール）(〒273-0005 千葉県船橋市本町1-3-1 フェイスビル6階)  
最寄駅：JR中央・総武線 船橋駅

令和元年10月25日(金) 19時30分～21時00分	第184回	「ほめゲーム」による体験学習 ～ちょっとした褒め言葉掛けで患者さんとよい空気を作りましょう。一カ月分の褒めて褒められる実践を！～ 一芽(ひとつめ)代表 有我 公一 先生
令和2年1月14日(火) 19時30分～21時00分	第185回	真菌症と抗真菌薬(仮題) 日本大学薬学部 病原微生物学研究室 教授 村山 琮明 先生
令和2年2月27日(木) 19時30分～21時00分	第186回	臨床で役立つPK/PD初歩の初歩 日本大学薬学部 薬剤師教育センター 教授 辻 泰弘 先生

## 【ファーマシューティカルケアの最前線】 1回3単位、受講料2,000円

場 所：日本大学校門会館 (〒102-0076 東京都千代田区五番町2-6)  
時 間：13時00分～17時50分  
最寄駅：JR中央線 市ヶ谷駅

令和元年11月17日(日) (疾患別テーマ) 新生児・乳児医療の現状と課題	産後の母子の特徴と助産師の支援の実際(仮題) 医療法人社団誠馨会千葉メディカルセンター 看護部 藤代 敬蓉 先生	13時00分 ～14時30分
	苦手意識持っていませんか?授乳婦,小児の薬物治療(仮題) 千葉県済生会習志野病院 薬剤部 岩佐 千尋 先生	14時40分 ～16時10分
	新生児医療の考え方と薬物療法 東京都立小児医療センター新生児科 医長 岡崎 薫 先生	16時20分 ～17時50分
令和2年2月16日(日)	(疾患別テーマ) 糖尿病領域におけるチーム医療を考える	13時00分 ～17時50分

問い合わせ先：日本大学薬学部薬剤師教育センター

TEL:047-465-3895

FAX:047-465-2384



# 研究室だより

## 薬物治療学研究室（1号館3階132）

桜薬会会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。薬物治療学研究室の近況についてお知らせいたします。

当研究室は2019年8月現在、林宏行教授、助教の私（花岡峻輔）の2名で教育、研究に取り組んでおり、配属卒研生の6年生7名、5年生7名、4年生8名と、総勢24名で活動しております。私は病院薬剤師として6年間従事した後、昨年4月に助教として着任致しました。林教授他、皆様にご指導いただきながら薬物治療に関する様々なテーマに関し、精力的に研究を進めてまいります。6月末に6年生の卒業研究発表会が実施され、7名全員が無事ポスター発表を終えました。現在は卒業、国家試験に向けて勉強を進めております。5年生は現在実務実習期間中で、現場で生の薬物治療に触れた経験を研究室での研究や今後の進路に大きく役立ててもらえればと期待しております。

最近のトピックスとして、今春4月には研究室旅行として1泊2日で軽井沢に行き、スポーツやそば打ち体験などを楽しみました。天候にも恵まれ、充実した研究室旅行を楽しむことができました。5月には横浜の地で林教授が大会長をお務めになられた第11回日本静脈経腸栄養学会首都圏支部会学術集会在開催となりました。開催においては私を含め、本研究室の6年生、5年生も参加させていただき、大変貴重な経験を得ることができました。また、6月の卒業研究発表会の後、4年生の歓迎会を開催いたしました。新しく配属された4年生を含め、学年を超えて研究室の親睦を深められたことと思います（写真は歓迎会の集合写真となります）。

末筆ではございますが、会員の皆様方の今後の益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

（花岡峻輔 記）





## 病原微生物学研究室（3号館1階311）

卒業生の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

研究室は現在、教員4名（小林弘子准教授、広瀬大准教授、板垣正講師、村山琮明）、大学院2年生1名、6年生16名、5年生17名、4年生12名という学内一の大所帯です。さらに上席研究員1名、客員研究員1名が在籍です。上席研究員の大坪久子先生は、2019年1月から日本学術会議連携会員に選出され、第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会の審議に参画され、ご活躍中です。客員研究員の辻村美保先生は平成30年度のリウマチ福祉賞を受賞されました。

研究室の研究内容は、真菌（菌類）および細菌（ヘリコバクターの一種や溶血性レンサ球菌）の、ゲノム情報、薬剤耐性機構・病原性因子、環境や宿主との関わり、地理的分布を含む疫学解析、診断法の開発およびキノコのRNaseの精製と機能解析です。

本年2月12日に一泊で卒業研究研修旅行に日光・鬼怒川に行きました（写真）。幹事の手厚い準備のおかげで楽しい時間を過ごすことができ、教員、卒業研究生が十分に親睦を深めることができました。寒い時期でしたが、龍王峡など冬でなくてはみられない景色と温泉を楽しみました。

ご来校やお便りで卒業生が元気で活躍していることを知ることが私どもの楽しみです。皆様のご連絡を一同楽しみにしております。最後になりましたが、会員の皆様のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

（村山琮明 記）



## 健康衛生学研究室（3号館2階324）

暑い日が続いております。ひと昔前なら「異常気象」と言っていた状態が、今日では「普通の夏」になってしまった感があります。

そんなことを考えながら、研究室の今昔を振り返ってみました。健康衛生学研究室は、開設以来、今年で9年目になります。多分、初期の頃の卒研究生は比較的最初からある程度の成熟度があったと思うのですが、ここ数年は、研究室に在籍中にまるで別人になるような大きな成長を遂げる学生が増えてきました。例えば今年の6年生（9期生）は本当に最後の最後まで成長し続ける学年でした。まだまだこれから先、彼らが超えるべき山はいくつもあるのですが、この勢いで全員が、来年の3月を笑顔で迎えるべく頑張っています。

5年生（10期生）そして4年生（11期生）は、研究室の今後の10年を作っていく大切なメンバーです。実務実習や就職などでお世話になる事もあるかと思いますが、その際にはよろしく願いいたします。

教員に関しては、和田先生が4月より准教授に昇格なされました。ますますの活躍を期待しています。榛葉は、この夏、提携先である英国ポーツマス大学及び欧州一の規模とレベルを誇るフランシス クリック研究所で本研究室の成果について講演を行う機会をいただき、貴重な経験になりました。

来年、研究室開設10周年を迎えます。それに伴い記念パーティーを行う予定です。日時はまだ未定ですが、決まり次第、いつものメール連絡でお伝えします。メールアドレスの変更などがありましたら、ご連絡いただけますようお願いいたします。（榛葉繁紀 記）



## 生物有機化学研究室（3号館3階332・335）

桜薬会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

生体機能化学研究室と有機化学研究室の2つの研究室が、本年2019年4月に合併し生物有機化学研究室となりました。この会報をご覧になられて驚かれた卒業生の方には、この機会をお借りしてご報告させていただきます。

旧有機化学研究室を主宰された宮入伸一先生、三宅宗晴先生、かつて同研究室にご所属であった高島亨先生も本年3月末をもってご退職になり、化学系研究室の看板は1枚減って寂しくなりましたが、合併によって教員4名体制（飯島洋、内山武人、齋藤弘明、高宮知子）の新しい研究室となりました。折しも令和元年誕生ということになりました。本年度の配属四年生が15名、合併前配属の五・六年生が36名、大学院生2名、合計57名の大所帯です。写真は本年度の卒研発表後の記念撮影と今年の配属生です。

卒業研究室で過ごした時間と経験は大事な思い出であり人生の糧となるはずです。これまで以上に学生にも教員にも成長の場となる研究室であるように努力したいと思います。旧研究室御出身の卒業生の皆さん、実験室や教員は変わっておりませんので、今までどおり、気軽に訪問してください。

末筆ながら、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、会員皆様のより一層のご発展をお祈り申し上げます。

（飯島 洋 記）



## 臨床薬物動態学研究室（3号館4階345）

桜薬会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。臨床薬物動態学研究室の近況を報告させていただきます。

現在、臨床薬物動態学研究室では、松本宜明教授、宮本葵専任講師、青山の教員3名、客員研究員2名、6年生13名、5年生13名、4年生12名で教育、研究活動を行っています。

例年行なっている研究室旅行では、平成30年4月には箱根に行き、温泉たまごを食べました。かまぼこ工場では、軟膏ベラをかまぼこベラに持ち替え、みんなでかまぼこを作りました。平成31年2月には千葉鴨川に行きました。鴨川シーワールド、野島崎灯台、海ほたると千葉を満喫してきました。研究内容に関しましては、ピロール・イミダゾールポリアミドの薬物動態研究、臨床データの薬物動態/薬力学解析、薬物動態解析プログラムNONMEM、統計解析環境RとPythonによるシミュレーション解析を研究室一丸となって進めております。

研究室では引き続き、薬物動態に基づく医薬品適正使用、TDM、PK/PDに関する教育・研究活動を行っていきたいと考えています。今後も勉強会、セミナーを企画して行きたいと考えておりますので桜薬会会員の先生方のご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。（青山隆彦 記）



# 研究室同窓会

## 第 29 回薬理学研究室同窓会（薬物同窓会）報告

恒例の薬理学研究室同窓会を 2019 年 5 月 11 日（土）にホテル東京ガーデンパレスにて開催いたしました。本年 3 月に定年退職された伊藤芳久教授（22 期・同窓会名誉会長）の祝賀会を兼ねての開催となった今回の同窓会には、1 期生（1956 年卒業）の大先輩から本年 3 月の卒業生までと幅広い年代の同窓生が参加し、また、伊藤先生がこれまで特にお世話になった日本大学薬学部外の先生方やご友人の方にもご参集いただきましたので、約 150 名が一堂に会することとなりました。写真は、同窓会関係者のみの集合写真です。

当日は、同窓会・祝賀会に先立って同ホテルで記念講演会を開催し、伊藤先生に「神経薬理学研究に魅せられて－日本大学での 37 年間の軌跡－」というタイトルでご講演いただきました。先生は、日本大学奉職後の代表的な研究成果をわかりやすく説明され、また、同窓会を含めた研究室の歩みについて、その時々の写真を示しながらお話しされました。懐かしい写真にご自身の学生時代を重ねた同窓生も多かったことと思います。引き続き開催した同窓会・祝賀会では、まず、伊藤先生がお世話になった方々を代表して 4 名の先生からご挨拶と乾杯のご発声をいただきました。先生方からは、伊藤先生との出会いや一緒に過ごした当時のエピソードなど興味深いお話を拝聴することができ、和やかな雰囲気の中に会をスタートさせることができました。その後、歓談に移りましたが、同窓生は、会場のあちらこちらで学生時代の思い出にまた、近況報告にと話に花を咲かせていたようです。会の終盤では同窓会を代表して井熊一宏会長（26 期）と草間貞氏（15 期）から挨拶をいただき、また、記念品及び花束を贈呈して改めて感謝の意を表した後、伊藤先生からご挨拶をいただきお開きとなりました。

隔年で開催しております薬理学研究室同窓会は、次回、第 30 回という節目を迎えます。引き続き会長を努めてくださる井熊氏のもとで 2021 年に開催する予定ですので、是非ご参加ください。最後になりますが、伊藤先生が退職された薬理学研究室は、新たに宮岸寛子助教を迎え、小菅康弘准教授、石毛の 3 名で教育及び研究に勤しんでおります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（石毛久美子 記）



2019年5月11日

伊藤芳久教授定年退職記念祝賀会

於 東京ガーデンパレス

# 支部連絡会報告

令和元年6月22日の校友会総会に先立ち、正午から桜門会館301会議室で支部連絡会が開催されました。支部連絡会は昨年度から開催され、今年度は2回目の開催となりました。

出席者は以下の通りです（敬称略）。

〈支部会員〉：藤原良雄（千葉県支部長 16期）、遠藤尚登（山形県支部代表 25期）、平岡芳子（茨城県支部長 21期）、赤瀬朋秀（桜神会会長 34期）、林 利香（栃木県支部連絡担当者 37期）、小松崎康文（東京支部長 41期）〈運営委員〉：内倉和雄（会長 14期）、渡邊和子（副会長兼総務委員会委員長 9期）、安川 憲（副会長兼IT委員長 18期）小林弘子（副会長兼学内委員会委員長 28期）、日高慎二（副会長兼事業委員会委員長 29期）、鳥山正晴（副会長兼財務委員会委員長 30期）、加藤孝一（事業委員会副委員長 31期）、内山武人（副会長兼事務局委員長 33期）、岸川幸生（総務委員会副委員長 35期）、中嶋順一（財務委員会副委員長 36期）、安部 恵（事業委員会副委員長 39期）、小菅康弘（事務局副委員長 45期）、齋藤弘明（事務局副委員長 46期）、中島理恵（学内委員会副委員長 49期）野伏康仁（学内委員会副委員長 49期）、小川尚武（監事 10期）、阪田泰子（監事 31期）、澤田康裕（監事 33期）

まず、内倉会長より、昨年度に引き続き、支部会活性化のための情報共有を行うことを目的に支部連絡会を行うこと、現在11支部に連絡がついていること、長野県は現在設立の準備を進めていることが報告されました。

また各支部から以下のような現状報告がありました。

- 山形県支部：本年の秋に支部会を開催する予定である。
- 茨城県支部：本年7月に予定していた支部会は中止となったが、8月に親睦会を開催する予定である。名簿上、毎年7～8名入会対象者がいる。
- 栃木県支部：現在のところ主な活動は行っていない。支部会の開催を計画中である。
- 千葉県支部：3月に支部会を開催し支部役員を一新した。今後の支部会の開催を3年に1回と見込んでいるが検討中である。今後入会者をどのように募っていくかが課題である。
- 東京支部：本年で30周年を迎えた。研修会は延べ50回を数えた。本年11月にも研修会を開催予定である。
- 桜神会：年2回（1月、6月）に講演会と懇親会を開催している。病院薬剤師、薬局薬剤師に限らず、多職種に声がけして入会者を拡げていく予定である。

その後、支部会の活性化に向けて自由討論となりました。

まず、各支部の新規入会者を募る方法が紹介されました。病院薬剤師会の名簿の利用（桜神会）、付属高校の同窓名簿の利用や三師会などの集会で対象者を探す（山形県支部）など、各支部で工夫を凝らして入会者を募っているようです。各県の中の薬剤師会の支部の集会なども利用できるという意見も挙がりました。

一方で、県単位を越えて県単位ではなく地方支部（例えば東北支部）なども必要であるという意見も挙がりました。各支部の置かれている環境に合わせた取り組みが必要だと思われます。また、今後、新

しい支部の立ち上げについて質問があり、その場合は校友会事務局が窓口になり検討を進めることになりました。

次に今後の校友会の在り方に関して話が進み、在校生との関りに焦点を当てた討論となりました。現在、在校生が校友会へ期待するものと校友会が提供するものが一致していない面があるので、在学中から卒後の人脈、すなわち校友会の存在が重要であることを教育する必要があるとの意見が挙がりました。現在も各分野で活躍する校友が在校生を対象に講演会を行っています。さらに幅広い分野から校友を招くことや在校生が就職を考える時期を考慮して講演会を行う案などが出されました。さらに校友会総会に在校生を参加させ交流を図る意見やFace book等SNSを利用して交流を活性化する意見も挙がりました。

今年度は校友会の活動について具体的な案が多く挙がり、今後の校友会活動の充実に期待が持てそうです。さらなる校友会の活動活性化に関して、校友の皆様アイデアを頂けると幸甚です。

(総務委員会副委員長 岸川幸生 記)

## 日本大学薬学部校友会（桜薬会）奨学金制度について

日本大学薬学部校友会（桜薬会）奨学金制度は平成22年度通常総会で設立が承認されて、専用口座を開設し、校友会会員の方々からの募金及び薬学部校友会桜薬会会報広告掲載料を奨学金の原資としています。平成23年度から給付を開始しています。

薬学部校友会（桜薬会）奨学金制度にご理解をいただきご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成30年度の日本大学薬学部校友会（桜薬会）奨学金の決算は下記のとおりであることを報告いたします。

日本大学薬学部校友会（桜薬会）奨学金専用口座（平成31.3.31現在）

科目	収入	支出	残高	備考
前年度繰越金	6,516,540			
今年度寄付金	670,376			寄付11件、広告2件
奨学金支給		600,000		奨学生3名、200,000×3
	7,186,916	600,000	6,586,916	

募金は下記口座をお願いいたします。  
口座：00120-5-318734  
口座名：日本大学薬学部校友会奨学金

## 会費納入のお願い

校友会活動は会費により運営しています。会費納入にご協力をよろしくお願いいたします。

宛名に会費納入状況が印刷されています。（会員番号に☆印のある方は未納です。）

未納の方は同封振込用紙で会費納入をお願いいたします。

会費は年額2,000円です。事務簡素化のため5年分10,000円または10年分20,000円を一括納入していただければ幸甚です。

## 地区支部・職域支部だより

### 第23回千葉県支部総会報告

平成最後の年、平成31年3月9日（土）午後2時より、第23回千葉県支部総会が薬学部校舎1号館第2会議室に於いて開催されました。

総会には、年度末の大変お忙しいなか 前学部長 草間 貞先生、前支部長 青木正忠先生のご出席をいただき、32名の参加者で行われました。

はじめに、新支部長 藤原良雄（16期）の挨拶の中で支部長交代の経緯について説明があり、つづいて議長に浅井秀樹氏（22期）を選出し、澤田康裕氏（33期）の司会で議事に入りました。支部会務報告、決算報告、監査報告、会則改定について承認され、最後に支部長から新役員・相談役が紹介され承認されました。

総会終了後、研修会として薬草園そして新しく完成しました「温室」の見学会を行い、生薬学研究室（薬用植物園 園長）松崎桂一先生に、約1時間に渡って園内を説明していただきました。今回は、少し定期的に早いとのこと、1、2ヶ月後であれば、緑多き、草花も鑑賞出来たと話されました。

懇親会では、校友会会長 内倉和雄先生、薬学部学部長 本橋重康先生の祝辞を頂き、草間先生の乾杯のご発声により歓談に入りました。話が弾むなか、出席者の方々から自己紹介スピーチをしていただき、記念写真の撮影をして和やかな雰囲気での閉会となりました。

次回は、3年毎の開催ですと令和2年となりますが、オリンピック開催で賑合う時期のため、時期ずらして開催する予定です。次回、是非ともご参加下さいますようお願い致します。有意義な支部会になるよう努力してまいりますので、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。（藤原良雄 記）





## 第42回桜神会

令和元年6月11日（火）、HOTEL THE KNOT YOKOHAMAにおいて、恒例の第42回桜神会が開催されました。当会は神奈川県内の医療機関に勤務する病院薬剤部（局・科）長に加え、調剤薬局に勤務する薬局長、若手の薬剤師、製薬会社の医薬品情報担当者（MR）と様々な職種の方々にお声掛けしております。毎回多くの同窓生が集まっており、今回も総勢40名の先生方が参加されました。

大学からは校友会会長の内倉和雄先生にご出席賜ることができました。内倉先生のご祝辞から始まり、湯川仁先生（仁天堂薬局）のご発声による乾杯に続き、ご歓談となりました。また、乾杯後のご歓談では、初参加していただいた先生方のご近況を伺うことができ、和やかな雰囲気になりました。

桜神会の開催に先立ちまして、学術講演会を行っております。眞鍋雄太先生（神奈川歯科大学附属病院 認知症・高齢者総合内科 教授）より「総合診療からみた認知症治療－無為をブレイクスルーに設定する意義－」の演題で、最新の情報を提供していただきました。サルコペニアやフレイルは認知症の重要なリスク要因とされており、サルコペニアとフレイルの端緒とされるアパシーと、食欲低下との関連について学ぶことができました。また、抗認知症薬を薬理学的プロフィールから選択する基準として、アイソフォーム選択性が重要とされており、薬剤師として現場にも活かすことができる貴重な情報となりました。

神奈川県在勤、在住の先生方には今後も積極的なご参加をお願いいたしまして、第42回桜神会の報告とさせていただきます。 （岡添 進 記）

### 桜神会に関するお問合せは

桜神会 会長 赤瀬 朋秀（日本経済大学 経営学部・大学院 教授 t-akase@tk.jue.ac.jp）まで



## 桜の木の下で

### 第4期生卒業60周年記念同期会（日本大学工学部薬学科：昭和34年卒業）

五年前、桜が咲きほこる旧両国国技館を改装した「日本大学講堂」で施行された卒業式から60年目の3月25日、思い出の場所で同期会を開こうとの約束で始まった計画を、公約通り理工学部2号館に隣接する「山の上ホテル」で無事開催しました。遠く松山、佐賀からの参加者も含めて24名が高齢にも負けず元気に集まりました。大多数は世田谷・三島の教養部から駿河台に移行し、2号館で3年間共に生活をしたのに、会場に来るのに迷子になる人も出ましたが、60年の歳月は簡単に取り除かれ、楽しい思い出の会になりました。まだ現業について居られる方も居り、長寿社会の中で年を忘れる話もありましたが、アルバイトもせず薬剤師にさせてくれた両親に感謝という重い話もありました。他学科は124単位で卒業出来るのに薬学科は172単位が卒業単位で、朝8時から17時までの授業、実習は20時、21時になることもありましたが、アルバイトは不可能でした。敬語もナシに、楽しい一時は瞬く間に終わりを告げてしまい、次回を約して終わりにしました。会のあとは2号館、本館を見学し、本館前で解散しました。

開催日時：平成31年3月25日 13時～15時

会場：山の上ホテル「新北京」

同期生近況：卒業175名（出席24名、欠席回答39名、

出欠回答ナシ33名、住所不明34名、物故45名）

（山内 盛 記）



## 八期生親睦会の報告

参加された皆様のご協力により楽しく友好的に会を終了することができましたのでここに感謝の心をこめてご報告します。

今回は昨年の参加者をメインにメールアドレスをお持ちの方にはメールで、そうでない方には手紙や電話で連絡した結果幹事を含めて18名が集まりました。

昨年と同じ芝さんの馴染みの光華亭で、令和元年5月25日12時～16時ごろまで開かれました。前回早く帰った方がいるなどして全員が入った集合写真が撮れなかったので今回は集合写真を取ってから会を進めました。当日は幹事の挨拶のあと、形式にとらわれず、適宜席を移しながら懇親・歓談しました。今回各自スピーチしましたが、その中で芝紀代子さんが公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会大会運営アドバイザーとして忙しくしかし積極的に世界的なこのイベントに取り組んでいるようすが披露されました。彼女が半生をかけて継続的に取り組んできた検体検査の技術が花開いたもので、立派に重責を果たしてくれることを願って仲間として応援したいと思います。

今回も大変楽しく会を終わることができたと思います。次回は東京オリンピック・パラリンピック競技大会が終わって落ち着く10月に開催する案で考えています。その際芝さんのご活躍の様子もお聞かせいただけることになっています。

今回の参加者は（敬称略；\*印幹事）青木正忠（\*）、荒木国興（\*）、石川将一、伊藤進、伊藤治憲、梶原温子（\*）、河南雅章、久保田昂、栗原道子（\*）、芝紀代子（\*）、下坂喜三二、寺澤正孝（\*）、長崎雅彦、畑中耕一、前田圭一、町田芙美、宮正伴、水村順子18名。

（青木正忠 記）



## 日本大学理工学部薬学科 10 期生喜寿お祝い（第 9 回）同窓会報告

令和元年 6 月 16 日（日）午後 1 時から、同期の仲間のお店大崎日本海「海の華」に於いて、卒業 50 周年記念から 4 年振りの喜寿お祝い同窓会開催となりました。前回 2015 年には元気に来られた友の中にも体調をくずされたり、遠出は無理になりましたの返信が多くなり、21 名と参加者が少なく、先生方のお招きは控えて、生徒だけでの同窓会となりました。吹田市から小林さん、静岡から卒業以来初参加の落合さんを迎えてのいつもの仲間の集まりとなり、司会者はたてずに懇談会を始めましたが、いつの間にか学生時代の癖が出て丹野さん司会で近況報告が進み、まだまだ現役でご活躍の方、この年で起業を立ち上げた方もいらして、皆様方のご活躍に拍手。大いに話はずみ、あっという間の 3 時間、楽しくにぎやかな同窓会となりました。大学 4 年の時だった東京オリンピックに続き、2020 年再び東京オリンピックを迎えます。元気に残りの人生を楽しみながら、次回は傘寿のお祝い会開催を約束して閉会となりました。

（幹事 木村由美子 記）



日本大学理工学部薬学科 10 期生喜寿お祝い（第 9 回）同窓会 令和元年 2019.6.16

牧村 小林 高橋 丹野 平井 小崎(松本) 大林(川上) 小川 山田 馬  
栗原 小林(相澤) 落合 加藤(阿部) 朝飛(南本) 瀧下 辻野(小林) 村上(平山) 米川(川口) 木村

## 第12期生会報告

昨年が続いて、お茶ノ水で懇親会を開催しました。卒業20周年記念会を終えたものの、昔の思い出を語りたいとする有志メンバーが、令和元年6月4日（火）午前11時半に会場となったホテルジュラク2階「あけびの実」に集まった。今回は参加者が15名で、遠くは栃木から渡辺光（旧姓 田村）さんがわざわざ2時間を要して参加してくれました。会場がバイキング形式のランチタイムのため、他のお客さんがウロウロして落ち着かないかなとちょっと心配。しかし、対面式の席を用意してくれたので15名がそれぞれ隣同士で話をすることができました。

会場を選ぶにあたり、お茶の水駅周辺をさがしてくれた幹事の話によると、予定していた山の上ホテルは改修工事中で今年末には完成の由。他のところはランチタイムといえ料金が高いため敬遠。結局、ここは料金がかなり格安でサービスも良いらしいとのことで集まりましたが、皆さんご満悦の様子。幹事さんはホッとしていました。

約2時間を過ぎた頃に、二次会に行こうということになり駅前の「カラオケ店」へ。歌を歌っても良いけれど、どちらかと言うと私たちグループだけでユックリ話をしたい気持ちが強く、10人以上の人数はなかなか収容先が見つからないだろうとして幹事さんの機転で「カラオケ店」に行った次第。でも店に入ったら、やはり学生時代に流行った懐メロを皆で歌い、当時の話に花が咲きました。歌を始める前に、次回のことを話し合ったところ、「来年もやろうよ」との声が多く、その結果、来年6月第一火曜日（2日）午前11時半から（多分新装なったはずの）「山の上ホテル」地下のレストランでランチタイムを利用して行うことにしました。同期の皆さんでお時間があれば、是非出席いただきたいと思えます。幹事は原田さんと小清水君に毎回お願いしています。午後4時過ぎに店を出てお茶ノ水駅前解散し、来年の再会を楽しみにしながら家路を急ぎました。

（森ひで子 記）

出席者：荒井正雄 小川雅子(小野) 小清水敏昌 小林国喜 齋藤芳久 山内一女美(清水) 富塚典子(鍵山) 永島修一郎 長谷川光男 原田隆子 増渕美子 藍原恭子(松井) 森ひで子 渡辺光(田村) 渡辺泰子(林)

## 薬学部校友会（桜薬会）ホームページのID

日本大学薬学部校友会ホームページの「校友会会則」・「求人・求職のコーナー」・「運営委員会資料」を見るにはIDとパスワードが必要です。

IDは宛名の下にある正会員番号の下6桁（半角）、パスワードは氏名（全角カタカナ）になります。ID・パスワードは毎年10月の末に一括更新しております。毎年3月に卒業された方は、10月までは学生時のID・正会員のIDどちらでも見られますが、それ以降は正会員のIDをお使いください。氏名の変更をお届けいただいた方は、10月までは旧氏名となります。

## 「薬茶やんちゃ 48 会」 ご報告 と同窓会・同門会の重要性

昭和 48 年に入学し、お茶の水でやんちゃに過ごした仲間達の会、第 11 回「薬茶やんちゃ 48 会 (7/14 第一ホテル新橋)」のご報告を致します。今回は「令和初の同窓会」・「65 歳の前期高齢者突入を祝う会」・「開催に尽力してくれた同級生の伊藤芳久教授と高島 亨教授の退官を労う会」の 3 項目を命題として参集しました。ご来賓として山内 盛先生、渡辺和子先生、内倉和雄先生にお越し頂きました。北は青森から南は沖縄まで全国の同級生 56 名が参集し、盛況な会となりました。参加者の挨拶、ジャンケン大会や集合写真など、あっという間に楽しい時間が過ぎました。卒業 20 周年で始まった当初は立食パーティーでしたが、イスの多い着席型になったのも 65 歳超という時の流れを感じる場面となりました。幹事の「独り言」になりますが、毎回「大きい会場を借りて、もし参加者が少なかったらどうしよう」という不安感がいつも付きまとっています。きっと他の同窓会や同門会の幹事さんも同じ思いをされている事でしょう。まさに同窓会・同門会は「皆様のご参加があってこそ成立すること」を是非ご理解ください。そして、どうか次回も (次回こそ) ご参加頂きますようお願い致します。ちなみに私が住んでいる神奈川県には「桜神会：おうじんかい」という地域同門会があります。卒業年度を問わず、神奈川県に在住又は職場がある方を対象にしております。参加ご希望がございましたら幹事の先生をご紹介致します。私自身、同窓会や同門会でいつも新しい発見やこの薬業界の狭さ (人間関係の意外な近さ) を痛感しています。とても素晴らしく後輩諸氏にも継承したい桜の伝統だと思います。同じ釜の飯を食った仲間達と楽しい時間を過ごすことも、新たなご縁ができて一緒にお仕事をするのも良いことです。そのような楽しく有意義なキッカケをつくってくれるのが同窓会・同門会です。これからも健康に留意して、次回の「薬茶やんちゃ 48 会」・「桜神会」に元気なお姿でお越し頂けることを切に願っております。

(PC アドレス [kannoks@ybb.ne.jp](mailto:kannoks@ybb.ne.jp) 菅野圭介 記)



## 第34期生同窓会報告

第34期生（平成元年卒）は、卒後30周年を記念して、平成31年2月9日（土）帝国ホテル インペリアルラウンジ アクアにおいて同窓会を開催しました。

雪のちらつく中、卒後初めての同窓会に、副学長・薬学部長 本橋重康先生、薬学部校友会長 内倉和雄先生ならびに道祖土勝彦先生のご臨席を賜り、総勢72名の出席をいただきました。遠方の沖縄、広島、大阪、愛知などから駆けつけてくれた方もおり、30年ぶりの再会とあって開会前にすでに大盛り上がりでした。

原浩祐君の司会進行のもと、発起人を代表して佐々木実君の挨拶で会が始まりました。続いて、本橋先生からご挨拶を賜り、薬学部の近況等をお話しくださしました。さらに内倉先生からご挨拶と乾杯のご発声を賜り、歓談となりました。

久しぶりに再会してみると、若かりし頃の面影を残しつつ（?!）、ちゃんとおじさんやおばさんへ変身しており、なんとも感慨深い気持ちになりました。当時の思い出話や近況報告などで花が咲き、時間が経つのも忘れてしまいました。宴もたけなわ、あっという間に予定の時間となり、代表幹事の坂本治彦君による挨拶で1次会の幕が閉じました。その後、多くの方が2次会へ参加され、さらに3次会、4次会・・・と続いたそうです。

本同窓会を通じて、34期の住所不明者がほぼ半減し15%となりました。情報を提供していただいた皆さんに感謝申し上げます。また、幹事および発起人（坂本、石川（瀬尾）、原、和泉（筆本）、稲葉、佐々木、鈴木、鈴木（戸村）、鶴岡、原（徳弘）、東（敬称略））に改めて御礼を申し上げます。近いうちに、皆さんと再会できることを楽しみにしています。（田口博之 記）



## 第36期同期会開催報告

2019年2月9日（土）に理工学部薬学科1991年卒業（1987年入学）の第36期同期会が東京日本橋のSCIROCCO（シロッコ）にて13時から盛大に開催されました。当日は朝から雪が舞い極寒でしたが、お昼前には天候も回復し無事に開催できる運びとなりました。2年ぶりの開催でしたが、57名と多くのみなさんに参加して頂き学生時代を懐かしみながら楽しい時間を過ごすことが出来ました。

乾杯をした後、みなさんの近況を研究室ごとに卒業アルバムを写しながら報告して頂き、現在も薬学部で専任講師としてご活躍の小山由美さんから大学の現況もお話いただきました。2次会も多くの人が参加し、3次会、4次会と終電間際まで楽しく飲むことができました。50歳で多くの同窓が元気に集まることができ健康第一ということで次回も元気に集まりましょう。 （上家英之 記）

36期同期会連絡先

高山 力 (c2-takayama@hhc.eisai.co.jp)

上家英之 (hideponkami@gmail.com)





## かっぱ会 [生化学研究室 (1期～15期)・衛生化学研究室(16期～36期)同窓会]

「かっぱ会」が故澤村良二先生の三年祭を機に開催された2013年(平成25年)3月以来6年振りに2019年(令和元年)5月19日(日)15時から東京ガーデンパレス(御茶ノ水)で開催されました。『天国の「かっぱの親父」から伝言が参りました』の案内に1期の小山 隆先生を筆頭にかっぱの教え子が沢山あつまり77名の集いとなりました。お酒と焼き鳥を前にした澤村先生も一緒に、岡田 博(23期)氏の司会で「かっぱ会」会長を引き継がれた小山 隆先生のご挨拶、松島章浩氏(6期)の代表幹事挨拶に続き、長谷川 明先生(5期)の乾杯の音頭で懇親会をスタート、石川県や高知、新潟など遠路から、また卒業後初めて出席という方もいらして、久しぶりの出会いに賑やかにしばし歓談が続く中、かっぱ会発足時よりご参加いただいている衛生裁判化学研究室の前田敏晴氏(6期)、警視総監賞受賞された飯塚直人氏(25期)、かっぱ会発起した4期卒研究生でアメリカ特許を取得した事を生き甲斐に84歳今も現役でご活躍の小倉嘉五郎氏(4期)にお話しいただき、また若手の薬学部医療薬学研究室の岸川幸生教授(35期)の「かっぱ会は続けていきます」の心強いお話があり嬉しいかぎりです。この会の席上、米寿を迎えられる小山 隆先生と昨年ご定年退職された環境衛生学研究室 立川真理子教授(20期)に花束をお贈りし、皆でお祝いをいたしました。澤村先生の生涯の水の研究を継承し、話題の「チョコちゃんに叱られる」に出演、全国放映された立川真理子先生(20期)からは卒業生から嬉しい連絡が多数あったこと、放送の裏話など聞かせていただき、あっという間の2時間半が過ぎ、岡田氏から次回は是非、澤村先生が足繁く通われ、愛された新宿“ボルガ”でのかっぱ会再開(1回目〇〇?年に開催)が提案され、一 何と23期卒研究生はボルガとの対抗野球試合まで研究のテーマとしてしまいました。一 かつて澤村先生ご活躍の場で、今も現役の黒河内雅夫氏(15期)の閉会の辞の後、記念撮影をし、閉会となりました。しかしながら、便利なデジカメ時代に安心して1台のカメラに頼り、SDカード破損、復帰がかなわず、皆様にご覧いただきたかった写真が無いという不測の事態となり、大変申し訳なくお詫び申し上げます。

次回にまた多数ご参加いただき、記念写真が残せませう様、祈念しております!

ここにご出席者のお名前(旧姓、敬称略)を記し、記念とさせていただきます。

1期:小山 3期:田中 4期:小倉 5期:小倉、高崎、長谷川、鉦、待井、吉川 6期:石井、前田、松島、丸山 8期:小山、高野 10期:木村、村上 12期:中原、袖山 14期:藤沼、渡辺 15期:上村、黒河内 16期:伊藤、嶋田 17期:大橋、鬼木、亀谷、宮本 18期:樺島、細井、南川、三山、山本 20期:立川 21期:須賀、須古 22期:大川 23期:大塚、岡田、奥山、河相、木村、丹羽、松浦、松本 24期:小倉、中島、谷山 25期:飯塚、大畠、佐々木、中村、村上 26期:潮田 27期:秋川、伊藤、川島、松永、三上、吉澤、吉澤 29期:齋藤 30期:永村 31期:田口 33期:金塚 34期:栗林、濱田 35期:笠原、岸川、藤巻、保坂、水谷 36期:内藤、藤田

医療創生大学 櫻井映子先生

(木村由美子 記)

## 日本大学薬学部硬式テニス部 OB・OG 会報告

令和元年5月5日（日）に日本大学薬学部テニスコートにて、薬学部硬式テニス部 OB・OG 会のテニス大会を行いました。ゴールデンウィーク最後の日曜日であったにもかかわらず、学部学生（6年生）2名を含む30名弱の卒業生が、お子様ともに集いました。また、当日は、天気にも恵まれて、学生時代を思い出しながら心地よい汗を流しました。卒業以来で久しぶりの再会となる方、昨年開催された OB・OG 会以来の再会となる方など様々でしたが、お互いの近況報告をしながら話に花が咲いて盛会となりました。夕方からは、津田沼駅周辺の居酒屋にて親睦会を行いました。こちらでも、学生時代の懐かしい話に花が咲き、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

ここ数年は母校に足を運んでいただくため、薬学部のテニスコートをお借りして開催しております。残念ながら今回ご都合の合わなかった方や連絡が取れなかった卒業生の方は、来年度も日本大学薬学部テニスコートにて、OB・OG 会を開催する予定でありますので、皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。ご質問やご不明な点等がございましたら、幹事の池畑（Email：dreamone1225@gmail.com）または小菅（Email：kosuge.yasuhiro@nihon-u.ac.jp）までお問い合わせください。なお、詳細は下記の Facebook（<https://www.facebook.com/groups/1638431826374703/>）にて随時更新いたしますので、ぜひご覧ください。

（小菅康弘 記）



## 日本大学薬学部スキー部 SCHNEE HASE 30 周年カジュアルパーティー開催報告

令和元年5月19日（日）、皇居前にある和田倉噴水公園レストランにて、薬学部スキー部の創部30周年カジュアルパーティーを開催し、48名のOB/OG/現役の方々にお集まりいただきました。20周年記念式典から約10年ぶりの再会となる面々、また大学卒業ぶりや初めて顔を合わせる面々で、社会人になってからの出来事、仲間との思い出や結婚・出産などの人生のイベントごとに関する話を共有しました。過ぎた期間は長いですが、皆学生時代の気持ちになり若々しく和気藹々楽しみました。元顧問である関根忠行先生（元薬学部教授）より乾杯のご発声をいただきましたが、その際のブルーのナイロンジャケットを羽織られた変わらない若々しい姿も皆で懐かしみました。

美味しい料理に舌鼓をうちながら終始和やかムードで会は進行し、会の途中ではチーム対抗クイズ大会を行い、スキーに関する超難問クイズに世代を超えたチームで挑み大いに盛り上がりました。会の最後には、パーティーの実行委員長である脇田一光さん（第2代、38期）からご挨拶と三本締め、そして松本直人OB会会長（第1代、37期）による”シーハイル！！（スキー万歳！！）”の掛け声によりお開きとなりました（その後、2次会、3次会そしてメのラーメンまで世代入り乱れて楽しく過ごしたのは言うまでもありません。）。

現在OB会ではLINEグループを作成し、スキー部の近況や合宿情報などを共有しております。またSNSを利用した情報発信も行っておりますので、スキー部とOB会が今後も末永く活動していけますよう、引き続き応援どうぞ宜しくお願い致します。

Facebook: 「日本大学薬学部スキー部」で検索  
Instagram: schneehase.nup  
Twitter: @nup\_ski

### 30周年幹事一同

脇田、醍醐、渡邊、高嶋、矢作

連絡先 (schneehase.nup@gmail.com)



## 鈴木孝教授 退官記念式典

平成31年3月30日（土）に六本木ヒルズクラブ51階「the horizon room」において、「鈴木孝教授退官記念式典」が開催されました。同窓生が発起人となり、式典が挙行されました。

式典の当日、「鈴木先生の退官記念式典に参加したい」と飛び入り参加も多数あり、最終的に123名の参加者となりました。葉山達也氏の司会で会が始まり、臨床医学研究室 教授 小野真一先生、日本大学薬学部学部長 本橋重康先生、日本大学医学部附属板橋病院前薬剤部長 吉田善一先生のご挨拶が行われ、式典が始まりました。

式典では鈴木先生は卒業以来の久しぶりの方々との再会もあり、お一人お一人と言葉を交わされ、終始、和やかな雰囲気の中で会が進行しました。

その後、鈴木孝先生により「My history on my life」という題で、鈴木孝先生の生い立ちから薬学部、医学部での学校生活、医師としての生活や薬学部での生活、薬学部での研究内容の紹介が行われ、改めて鈴木孝先生の研究のご成果のすばらしさをお伺いすることができました。

その後、高田知美氏からの記念品の贈呈、伊藤あすか氏、斎藤岳氏からの花束が贈呈されました。その後、鈴木孝先生からの感謝の言葉が述べられたあと、同級生のアポテカヘルスソサエティグループ代表 石田制利氏からのご祝辞を賜り、お開きとなりました。

遙か遠くから知人の方々、研究室の卒業生や薬学部同門生、研究室所属の学生、薬学部教員など様々な方々が参加されました。会の発起人となった葉山先生らのご尽力により盛大な会となりました。これもひとえに鈴木孝先生のお人柄によるものと推察いたします。

出席できた方、出席できなかった方々のご健勝をお祈りしつつ、鈴木孝先生のさらなるご活躍をお祈りいたします。

（中山敏光 記）



## 有吉歌子先生を偲ぶ会報告

先生の3年目のご命日にあたる平成31年4月28日(日)13時から、市ヶ谷の桜門会館にて12期～29期の11名で「有吉歌子先生を偲ぶ会」を行いました。桜葉会報のみでのお知らせで周知不足であった事と、天皇即位にからむ10連休とも重なり、思ったよりも少人数での会となりましたが、参加者それぞれが有吉先生とのエピソードや近況をじっくり話しあう中で、先生を偲ぶ心温まる時間をもつことができました。

- ・まだ女性が大学で学ぶことが一般的でなかった時代に、大学をご卒業後にフランスパリ大学で研鑽を積み、日本人女性第1号として学位を授与されたことの凄さ
- ・「あなた方、勉強しなさいよ」とお声がけ頂いた事
- ・叱っていただき身についたことの数々
- ・ソフトボールを研究室学生とともに楽しまれたエピソード
- ・小池先生は、若い頃フランスに先生と同行したときの思い出
- ・草間先生は、ご近所にお住まいの頃の思い出、先生が最後の時間を過ごされた場所のこと、そして、当時の「ハーバーの生化学」教科書をご持参いただきました。

それぞれの心にしっかりと今も記憶に残る有吉先生と出会えたことに改めて感謝したいと思いました。今後のご命日の4月28日に近い日曜日、来年は4月26日(日)お茶の水で会食し、年に1度の有吉先生を偲ぶ時を過ごしたいと思っております。今回参加できなかった方はホームページを見て頂き、次回には是非ご参加くださいませ。 <https://lilasariyoshi.jimdofree.com/>

尚、参加者以外に4名の方よりお花代を頂戴しました。お花は若き日の有吉先生のお写真と共に霊前に飾らせていただきました。中央は、先生がお好きだったライラックです。(中村直美 記)



## 日本大学・日本大学校友会ニュース

### 令和元年度日本大学校友会役員総会が開催される

本役員総会が令和元年7月12日（金）15時から「東京ドームホテル」で開催されました。平成30度の行事・事業報告、経過報告、財務報告が行われた。併せて準会員（学生会員）に対する奨学金授与が実施された。また、長年に渡り校友会に貢献された先輩に対し感謝の意を表し、大きな拍手で感謝の気持ちをお伝えした。令和元年度の事業計画案、収支予算案、日本大学校友会会則の改正案等が審議され満場一致で承認された。

### 令和元年度全国校友大会

令和になって初めての全国校友大会が、令和元年11月1日（金）18時より「東京ドームホテル」で開催されます。この大会は、全国の校友と日本大学の役員・教職員が年に一度、一同に会し交流することで“絆”を深め、日本大学のさらなる発展に寄与することを目的としています。多くの校友の皆さまのご参加をお待ちいたします。

## 薬学部 ニュース

### 学位記伝達式

平成30年度大学院薬学研究科及び薬学部の学位記伝達式が3月25日（月）に2号館2階多目的ホールにおいて行われました。203名（博士課程2名、学部生201名）が修了・卒業し、巣立っていきました。

### 開講式

平成31年度大学院薬学研究科及び薬学部の開講式が4月3日（水）に薬学部2号館2階多目的ホールにおいて、新入生267名（博士課程5名、学部生262名）を迎えて行われました。御来賓として、株式会社三祐産業稲垣薬局 代表取締役 稲垣英夫氏に御臨席を賜り、御祝辞をいただきました。

### 平成30年度薬学共用試験結果

	実施日程	合格者数	合格基準
CBT	本試験 平成31年1月12, 13日 再試験 平成31年2月20日	240	正答率60%以上
OSCE	本試験 平成30年12月9日 再試験 平成31年2月23日	242	細目評価70%以上 概略評価5以上
合計		240	

OSCEの評価者として多くの卒業生の皆様に御協力いただきました。ありがとうございました。

### 第104回薬剤師国家試験結果

第104回薬剤師国家試験が平成31年2月23日（土）・24日（日）に実施され、平成31年3月25日（月）に合格発表がされました。合格率は84.1%で全国平均85.5%、私大平均84.8%でした。

## 薬学実務実習

令和元年度の薬学実務実習は、第Ⅰ期は平成31年2月25日（月）から令和元年5月12日（日）、第Ⅱ期は令和元年5月27日（月）から8月11日（日）、第Ⅲ期は令和元年8月26日（月）から11月10日（日）、第Ⅳ期は令和元年11月25日（月）から2月16日（日）の日程で行われます。

5年次生が薬局、病院の順に続けて1期ずつ実習を行います。卒業生の皆様にお世話になる学生も大勢いるかと思いますが、御指導の程、何卒よろしくお願いいたします。

## 薬草教室

第28回薬草教室が令和元年5月11日（土）に開催されました。講師に公益社団法人東京生薬協会の飯田修氏をお迎えし、「似て非なる薬用植物」と題し御講演をいただきました。受講者は熱心に学んでおりました。また、講演終了後、薬用植物園を見学しました。

## スポーツ大会

令和元年度薬学部スポーツ大会が5月25日（土）に理工学部船橋校舎を主な会場にして開催されました。天気に恵まれ澄み渡る青空の下、学生341名、教職員78名、合計419名が参加し、屋内・外で熱戦が繰り広げられました。

## 公開講座

第22回公開講座が令和元年6月1日（土）に開催されました。講師に本学部専任講師の進藤大典氏をお迎えし、「知っていますか？運動のいいところ」と題し御講演をいただきました。また、施設公開として薬用植物園を公開しました。

## オープンキャンパス

7月28日（日）及び8月21日（水）に開催されました。7月28日（日）は1,028名、8月21日（水）は611名に御来場いただきました。今年度は両日ともに自由参加として実施し、たくさんの方に参加してもらうことができました。

## 薬学部教員人事

### 1 退職

① 休職期間満了（2019.4.22）

（1）古川 めぐみ 助教（生薬学）

## 薬学部校友会（桜薬会）ホームページでの求人情報募集

会員からの求人情報の掲載は無料です。求人申込書はホームページの「求人・求職」のページからダウンロードし、必要事項をご記入の上、事務局に郵送（あるいはFAX）してください。なお、「求人・求職」のページを閲覧（ログイン）するには、会員番号IDが必要です。会員番号IDは封筒宛名下にある会員番号の下6桁です。

ホームページアドレス；<http://alumni.pha.nihon-u.ac.jp>

メールアドレス；[pha.alumni@nihon-u.ac.jp](mailto:pha.alumni@nihon-u.ac.jp)

# 会 務 報 告

## 令和元年度校友会通常総会報告

令和元年度校友会通常総会は令和元年6月22日（土）午後1時30分から日本大学桜門会館で会員42名が参加し、名誉会長本橋重康薬学部長をお迎えして開催された。内倉和雄会長の挨拶に引き続き、学部代表として本橋薬学部長のご挨拶があった。

その後、校友会会則14条により内倉会長を議長に選出した。議事に先立ち議長から議事録署名人加藤孝一氏（31期）、齋藤弘明氏（44期）が指名された（会則14条）。

第1号議案（平成30年度庶務報告、事業報告、決算報告ならびに監査報告）についての説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

第2号議案（令和元年度事業計画案ならびに予算案）についての説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

第3号議案役員承認についての説明があり、審議の結果、原案通り承認された。

引き続き懇親会が桜ホールで日本大学学長大塚吉兵衛先生、日本大学校友会千葉県支部長石井 進先生、名誉会長本橋重康薬学部長、同僚学部校友会会長など14名、日本大学校友会事務長有賀 聡様ならびに多数の薬学部教職員をお迎えして開催された。初めに内倉会長の挨拶があり、その後名誉会長本橋先生のご挨拶、ご来賓の紹介、続いて学長大塚吉兵衛先生、日本大学校友会副会長・工学部校友会会長中野伍朗様からご挨拶があった。薬学部事務局局長須永 登氏のご発声で乾杯し、開宴となった。懇談中、定年退職された伊藤芳久先生、鈴木 孝先生、宮入伸一先生に内倉会長から感謝状並びに記念品が贈呈された。恒例の福引も行われ、次年度の再会を楽しみに散会した。

## 令和元年度幹事会報告

令和元年度幹事会は6月7日（金）午後6時から日本大学桜門会館において、幹事参加者29名で開催された。

### 議題

#### 1. 令和元年度通常総会資料について

薬学部校友会通常総会資料についての提案があり、審議の結果、原案のとおり総会に上程することとなった。

#### 2. その他

##### 1) 海外居住者に桜薬会会報は発送しているのか。

「国内の住所が登録されていれば発送している

##### 2) 医療系同窓・校友学術講演会の受講費について

「令和元年度より参加者からは徴収しないで、校友会が負担することにする」



## 平成31年度 入会記念特別講演会報告

新入会員（1年生）にむけて、第15回入会記念特別講演会「薬学の世界」が下記の通り開催された。

日時：令和元年5月9日（木）14：40～16：20

場所：薬学部8号館 832教室

### 演題・演者

- 1 「病院薬剤師ってどんな仕事？」  
聖隷佐倉市民病院 薬剤科 富田 歩子（45期）
- 2 「製薬企業の研究者からのメッセージ～大学時代の大切さ～」  
全薬工業株式会社 研究開発センター 森木 誉嗣昭（45期）
- 3 「常に最先端の公務員！～ルールは私たちが造る～」  
福島県北保健所生活衛生部 医療薬事課 尾形 真一（31期）

## 役員について

幹事（任期：令和元年度まで）◎印 常任幹事

卒業期

第39期 菅野 守啓、書川 宏子

第62期 ◎ 西留啓太郎、八木沙英子、山崎 正幸

学内幹事

新任 辻 泰弘（42期）、徳田 栄一（50期）、宮岸 寛子（52期）、中村 公薫（54期）

役員退任 伊藤 芳久、鈴木 孝、高畠 亨、三宅 宗晴

### 物故者名簿：心よりご冥福をお祈り申し上げます。（2019.08.31現在）

正会員	14期 北川 和博（2019. ）
1期 加賀谷 進二（2018.07. ）	14期 真島 秀治（2008.08.01）
1期 菅野（池田）久柄	15期 増田 英昭（2019.03.10）
2期 高 仲 正（2019. ）	16期 豊田（胡）愛珠
4期 井上 清視（2019.01.10）	19期 出井 正邦
4期 鈴木 敏夫（2018.07. ）	19期 東本 幸次（2018.07.12）
4期 椛澤 洋三（2018.11.07）	22期 鈴木 良成（2018. ）
4期 國友（窪田）玲子（2018.07.30）	22期 緑川（大胡）真智子
4期 永瀬 一郎（2019.06.01）	26期 木下 義文（2019.07.06）
4期 新村（川上）節子（2018.10.03）	27期 高橋 みどり（2018.01. ）
5期 中西 弘（2019.04.12）	27期 中村 不二彦（2018. ）
7期 木村（久我）和子（2018.02.09）	30期 中村 圭伯（2018.06.01）
7期 深谷 仁恵（2018.08.08）	
9期 清水（下村）紘代（2019.01. ）	特別会員
13期 小川 賢三（2018.01.01）	高村 圭一（2019.01.25）
14期 新井（百々）尚美（2015. ）	

校友会事務局に、死亡日時、葬儀日時、会場、喪主をご連絡いただければ、会より弔電を打たさせていただきます。

# 平成 30 年度 決算報告

## 正味財産計算書

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 (単位:円)

科 目	平成 30 年度実績	平成 30 年度予算
I 一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 受取会費		
入会金収入	2,530,000	2,488,000
前納当年該当分	6,368,000	6,392,000
学生・正会員当年分	3,744,000	4,000,000
② 雑収益		
受取利息	226	300
有価証券利息		
医療系収入	15,000	
その他収入	993,000	600,000
経常収益計	13,650,226	13,480,300
(2) 経常費用		
① 事業費		
印刷費	1,952,640	2,000,000
原稿料	43,400	60,000
発送費	1,787,359	2,000,000
生涯教育講座	300,000	300,000
支部等	464,000	700,000
学生会員	1,764,170	2,100,000
医療系・工科系	209,086	300,000
HP 管理費	453,600	500,000
事業費計	6,974,255	7,960,000
② 管理費		
総会費	624,454	750,000
委員会費	109,241	150,000
管理費	731,757	700,000
人件費	1,098,795	1,800,000
旅費交通費	293,057	500,000
通信費	165,848	250,000
本部等分担金	620,000	630,000
慶弔費	428,563	600,000
予備費	50,000	140,300
管理費計	4,121,715	5,520,300
経常費用計	11,095,970	13,480,300
当期経常増減額	2,554,256	
2 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用		
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
当期一般正味財産増減額	2,554,256	
一般正味財産期首残高	12,152,066	
一般正味財産期末残高	14,706,322	
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	15,688,140	
指定正味財産期末残高	15,688,140	
III 正味財産期末残高	30,394,462	

## 貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日現在 (単位:円)

	平成 30 年度
I 資産の部	
1 流動資産	
現金	23,738
普通預金	20,354,213
郵便貯金	16,874,292
野村証券預け金	29,854,219

流動資産合計	67,106,462
資産合計	67,106,462
II 負債の部	
1 流動負債	
前受前納会費	36,712,000
流動負債合計	36,712,000
負債合計	36,712,000
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	
指定正味財産合計	15,688,140
2 一般正味財産	
正味財産合計	30,394,462
負債及び正味財産合計	67,106,462

# 令和元年度 予算

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日 (単位:円)

### ○収入の部

科 目	予 算
入 会 金	2,540,000
年 会 費	
前納会費積立	6,314,000
当年度納入	4,300,000
利 子	300
雑 収 入	600,000
合 計	13,754,300

### ○支出の部

科 目	予 算
1 事業費 合計	8,020,000
① 会誌発行費	
印刷費	2,000,000
原稿料	60,000
発送費	2,000,000
② 活動補助費	
生涯教育講座	300,000
支部・同期会	600,000
学生会員	2,360,000
医療系・工科系	300,000
③ HP 管理費	400,000
2 管理費 合計	5,734,300
① 会議費	
総会費	700,000
委員会費	150,000
② 事務局費	
管理費	900,000
人件費	2,000,000
旅費交通費	500,000
通信費	200,000
③ その他	
本部等分担金	630,000
慶弔費	600,000
④ 予備費	54,000
合 計	13,754,300

### ○本部還付金

科 目	予 算
1 本部還付 (正会員)	(150,000)
年会費充当分	100,000
雑収入充当 (寄付金扱)	50,000
2 本部還付 (準会員)	(9,300,000)
入会金充当	2,540,000
年会費充当分	3,100,000
前納会費充当	3,660,000
合 計	9,450,000

# 会 合 予 告

## 第 51 回 東京支部（東桜会）研修会開催のお知らせ

発足 31 年目、心より皆様のご参加をお待ちしております。申し込みにつきましては薬学部校友会ホームページ内の地方支部のページをご覧ください。

日 時：令和元年 11 月 7 日（木）19 時 20 分から

会 費：1,000 円 薬剤師研修センター認定シール 1 点（要事前申し込み）

※別途懇親会あり（希望者のみ）

場 所：市ヶ谷日本大学桜門会館

演 題：日本大学医学部附属板橋病院薬剤部 今井徹先生

「入院支援センターの業務と薬薬連携への展望（仮題）」

問合せ先：小松崎康文（41 期）

日本大学松戸歯学部付属病院 [komatsuzaki.yasufumi@nihon-u.ac.jp](mailto:komatsuzaki.yasufumi@nihon-u.ac.jp)

## 第 40 回薬品分析学研究室同窓会開催のお知らせ

薬品分析学研究室同窓会（総会並びに懇親会）を下記により開催致します。

今回で第 40 回を迎えます。多数ご参加下さいますようお願いいたします。

日 時：令和元年 11 月 17 日（日）午後 1 時～

会 場：アリスアクアガーデン東京丸の内

東京都千代田区丸の内 2-1-1

明治安田生命ビル B1

TEL 03-3287-8153

（JR 東京駅 丸の内南口徒歩 4 分、

地下鉄千代田線二重橋前駅 3 番

出口直結）

問合せ先：日本大学薬学部薬品分析学研究室

四宮 一総

TEL：047-465-6137

E-mail：shinomiya.kazufusa@nihon-u.ac.jp



## りんどう会（生薬学研究室・生薬研究会）同窓会のお知らせ

下記の日程で恒例のりんどう会を実施致しますので、皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。詳細および申込みは研究室 HP または QR コードからお願い致します。

りんどう会会長 藤原忠美

日 時：令和 2 年 3 月 15 日（日）12:00 ～ 14:30

場 所：日本大学桜門会館 4 階ホール

締 切：令和 2 年 1 月末日（お問合せ先 [pha.rindokai@nihon-u.ac.jp](mailto:pha.rindokai@nihon-u.ac.jp)）



# 会費納入報告

財務委員会

会費を納入いただきました方の名簿です。ご協力ありがとうございました。誤りがありましたらお知らせください。

本部準会員（学生会員）会費納入者は人数のみのご報告とさせていただきます。

（平成31年2月1日～令和元年7月31日）

## 会費納入者

### 2,000円納入者

56 杉本幸美, 鈴木隆子, 森本達也, 山口久美 57 黒瀬眞子, 野田文子, 野田正道 58 森佳子, 山本庸子 59 木村清, 吉田久子 60 吉川登志江 61 小林和子, 辻厚子 62 青木千勢子, 伊東由紀子, 伊藤善明 63 栞島國利, 寺澤正孝, 宮本頼章 66 時田真人 72 小川康子, 瀬口由行, 山下和代 74 川井龍美 76 片桐秀明 77 安部貞詔, 長瀬健市, 藤田智子, 富士本稔 81 谷川清澄 82 中村宏典, 渡辺正実 84 加藤泉 87 野田浩道 89 伊藤由美 91 岸川友紀, 永野義武 95 今田吉宣, 西野潤一 05 匿名, 藤代大輔 09 鈴木弘子  
以上 43 名

### 4,000円納入者

58 小池雄一郎 61 小山登志江 64 金子幹宏 82 吉岡正明  
以上 4 名

### 6,000円納入者

58 中澤サキ子 59 河井弘子  
以上 2 名

### 10,000円納入者

56 合木淑子 59 古賀恒雄, 元文清子, 堀端由美子 60 大日方綾子, 待井啓子 61 石井静子, 志田厚生 62 池田梅子, 長谷川順子 63 泉澤晴子, 伊藤益宏, 清水夫左子, 根本泰子, 長谷田勇 64 池谷征子, 小野沢弘子 65 木村由美子, 齊藤重野 66 浅野千代子, 安倍千明, 折原俊巳, 清水慶子 67 小川雅子, 渡辺公洋 68 釘宮道子, 栗山忠俊 69 瀬尾健一, 吉野和子 70 木村桂子, 栗田久子 71 伊藤恵美子 72 小野敏江, 亀谷久雄 73 黒田啓文, 澤田博, 田中達夫 74 日向一正 76 大川則行, 出口千佐, 古谷幸子, 増井智子 77 尾島友子, 澤木康平, 林佳子 78 福島宣久, 松島信行, 水澤清 79 小川耕造, 鎌田久穂, 望月邦代 80 麻生容子 81 加藤智由紀, 越川藤乃, 豊田千恵子, 松本淳子 82 石田英雄, 加藤直人, 芝野泰代, 佐藤勇, 湯川仁 83 犬山彰子, 瀬賀恵子, 長峰かおる, 長峰富士夫 84 安齋素子, 梅本貴子, 保坂明美 85 小林英文 86 堀穰, 吉岡大介 87 岩本和久 88 齋藤賢哉 89 上野淳子, 西利弘, 吉澤昭世, 近藤紀子 90 城戸口和成, 西村康人, 渡邊ゆかり 91 郡司和恵 92 山川恵子 93 荒野晃太郎, 田邊香織, 山口裕康 95 安藤蘭美 96 畑間康二 98 稲井順子 99 藤井真弓 02 太田有紀 03 柴田奈千世, 南里智洋 04 豊福真理子 08 野老直樹 09 久住真維  
以上 95 名

### 20,000円納入者

79 謝村錦芳 81 永山民子 83 飯川和智, 中村光利 89 銭本かおり 91 宮地秀明 93 佐藤賀子 96 油谷由美, 黒田好美, 97 鈴木真由美  
以上 10 名

### 52,000円納入者

63 高田孝子  
以上 1 名

## 平成30年度本部正会員会費納入者 (薬学部校友会へ還付があった者)

57 一ノ瀬衛 59 桃澤洋三, 高梨久美子 60 齊藤文夫 61 前田敏晴 62 山崎美江 63 長崎雅彦 64 小松康宏, 渡邊和子 65 小川尚武 68 高橋繁治 69 内倉和雄 70 宇野澤まり子, 草間貞 73 齋藤好廣, 鈴木真知子 74 平井幹廣 75 土井正道 76 石田制利, 伊藤正徳, 鈴木孝, 本橋重康 77 塚本利夫 78 高野英夫 79 地曳いせ子 80 梅沢芳史, 関和優子, 丸山恵子 81 山中健三 82 木村高久 84 日高慎二 85 林宏行 86 加藤孝一, 早坂正敏, 岩鶴節子 87 亀井美和子 88 大塚進, 澤田康裕 90 岸川幸生, 新海一郎, 西村伸大 94 土屋晃一 96 大場延浩, 小松崎康文 99 荒井希文 00 木村恵子 01 齋藤弘明 02 宮本陽子 03 橋本詠次 04 今井徹 06 松本大輔 07 下田康代 12 北野徹

特別会員：宇野朋子, 小野真一, 木澤靖夫, 千田淑子, 手塚雅勝, 富澤経裕, 長谷部光帆, 松本宜明, 薬真寺千恵子  
以上 62 名

## 令和元年度本部準会員会費納入者 (薬学部校友会へ会費還付があった者)

学部 1年	271名	大学院 1年	5名
学部 2年	266名	大学院 2年	5名
学部 3年	243名	大学院 3年	4名
学部 4年	220名	大学院 4年	3名
学部 5年	238名		
学部 6年	276名		
以上 1531 名			

## 日本大学薬学部校友会（桜薬会）奨学金寄付者

日本大学薬学部助副会

69 内倉和雄 76 本橋重康 77 伊藤芳久 01 齋藤弘明

特別会員：佐々木芳昭

合計 455,000 円

発行日 令和元年10月15日  
編集人 日本大学薬学部校友会事業委員会  
発行人 日本大学薬学部校友会 内倉和雄  
印刷所 協友印刷株式会社  
TEL 03-5948-7150

発行所 千葉県船橋市習志野台 7-7-1  
日本大学薬学部内 (〒274-8555)  
TEL/FAX 047-465-1478 (直通)  
E-mail : pha.alumni@nihon-u.ac.jp  
振替口座番号 00140-0-53798  
振替口座名 日本大学薬学部校友会